



令和4年11月21日(月)

校長室より(119)



こんにちは。

先週金曜日に学校をお休みして、夏休み中健康診断(人間ドック)で注意を受けたところの精密検査をしてきました。検査自体は30分間程度で終わるものでした。でも、麻酔をかけて行うので、1日だけ(18日の朝10:30~19日の朝9:30)入院しました。

受付をして病室に入ったものの、はじめのうちは学校のことが気になっていました。「みんなも先生たちも元気に過ごしているだろうか」「今日の給食は、何がでるのかな」とかです。でも学校のことは、野崎教頭先生にお願いしてあったので、検査に専念することにしました。

午後の早いうちに検査が終わって病室に戻りました。でも、麻酔を打っていたので、ベッドで横になっていることしかできませんでした。食事(昼食・夕食)もできませんでした。朝食も食べていないので、栄養は点滴から摂りました。することがないので、たくさんテレビを観て過ごしました。

夜になってだんだん麻酔が切れてきて、感覚が蘇ってきました。いつもの自分の身体が戻ってきたようで嬉しくなりました。でも、普段と違う環境、しかも病院だったせいか、なかなか眠りに就けませんでした。

翌朝、6:00に看護師さんに起こされました。検温と血圧測定、歩く練習が終わると、36時間ぶりくらいの食事(朝食)を食べて、手続きをして退院してきました。

1日にして、健康であることの大切さを実感した検査入院になりました。

